



▲大会のようす。みんな真剣です。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。

身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

二枚橋・須萱いきいきヘルスクラブ

議員を講師に村の現状・課題を学ぶ

二枚橋・須萱老人クラブでは、2月19日に二枚橋集会所で「二枚橋・須萱いきいきヘルスクラブ」を開催し、村議会議員3人を招いて村の抱える問題や現状についての講演を行いました。

同クラブの会員30人が

集まったこの日は、山田猛史副議長を始め、佐藤八郎議員、北山文子議員の3人が講師として出席、合併問題や高齢者の保健福祉などのテーマで話がされました。話を聞き終わった参加者からは、合併に対する

新春ヒカルの碁大会

囲碁の楽しさを子供たちにも

新春ヒカルの碁大会は2月15日、公民館日本間で行われ、小学生13人が囲碁の対戦をしました。公民館では、大会開催前の今年1月25日と2月8日に、囲碁教室を開催、そこで子供たちは「9路盤」という碁盤の範囲を狭くした状態で碁のル

ルなどを学びました。今回の大会は、低学年の部と高学年の部にわかれ、練習と同じ9路盤で総当りのリーグ戦形式で行われました。対局が始まると子供たちは真剣な表情で碁盤に向かい、張りつめた空気が漂う会場に、碁石を打つ音が響い



ていました。

対局を終えて「楽しい、もっと強くなりたい」と子供たちは話しており、囲碁の持つ魅力に、新しい楽しさを発見したようでした。

村の今後の対応等の質問などが出され、それぞれ理解を深めていました。



20の ツリートーク



市澤 瑞穂さん
千葉県勝浦市在住
(深谷出身)

◆20歳の今思うこと

20のリレートークという
ことで内容を何にしよ
うか迷いましたが、普段
言葉にできない家族への
思いをテーマにしました。
私的なことで申し訳なく
思います。私が私にとって飯
館Ⅱ故郷Ⅱ家族という思
いがあるのでこれが一番
良いかと…。

昔はいつも早く村を出
たいと思っていました。
不便で、寒くて、何にも
ない場所だと感じていま
した。しかし高校進学を

機に家を出ると、嫌いだっ
たその場所はとても居心
地の良いところとなりま
した。両親は、私がやり
たいと思ったことを失敗
する、しないに関わらず
何でもさせてくれました。
勉強しろとも言われずに
自由に育ちました。おか
げで自らの足と手と目、
そして心を養うことがで
き、それらはこれから
役立つと思います。また、
祖父母は今でも健康で、
時折届くとれたての野菜
は、どんなスーパーに売っ
ているものよりも新鮮で
素晴らしいものだと思
います。村にいる頃は何気
なく通り過ぎ、感じてい
たことが20の今では、そ
れら一つ一つ様々な思い
が湧いてきます。私も両
親のような大人になれる
のでしょうか。

最後に村への要望です
が、ぜひ飯館村のホーム
ページを充実させてくだ
さい。楽しみにしていま
す。

人形劇団もも公演

迫力の人形劇に子供たちもビックリ



▲楽しい人形劇に
子供たちも夢中

2月22日、ビレッジハウスで人形
劇団もも(福島西子ども劇場)の公
演が行われ、120人の親子が人形
劇やロープあやとり、マジックショ
ーなどを楽しみました。

「人形劇団もも」は、劇中で使う
人形の全てが手作りの劇団で、この
日は「3枚のお札」と「なにもなく
ても」の2作を上演、このうち「3
枚のお札」では、小坊主さんを追
いかける山姥のあまりの迫力に会場の
子供たちはビックリ、中には逃げ出
す子供も出るほどの迫力の演技が披
露されました。

この後はロー
プあやとりとマ
ジックショーが
行われ、鮮やか
なマジックに、
会場からは大き
な拍手が贈られ
ていました。

飯樋小に木製の机
“あったかい”と好評



▲木の机は「あったかい」と評判

県の「木の香る環境整
備事業」の補助を受け、
飯樋小に福島県産の杉を
使った木製の机と椅子1
03脚が整備されました。
これは、平成15年12月に
飯樋小が改築されること
から、新しい校舎に合っ
た机をと整備されたもの
です。

木の机を実際に使って
みた子供たちは「とても
あったかい」と、金属の
机にはない木の良さを話
していました。